

一般質問

・子育て支援策について
・水道事業の方針について



河原崎 恵士

問

長期休暇中の放課後児童クラブ利用料金改定の計画及びニーズの高まりへの対応策は

答

近隣市町と料金を比較すると格差があります。サービス内容を精査した上で料金体系を研究します。また、確実にニーズは高まってきていますので、空き教室の利用などで定員増加を柔軟に検討します。



問

在宅育児者への支援策は

答

育児の社会的孤立が問題になってきている昨今、社会的要因に関わる育児ストレスを解決するには個人や家族単位では困難と考慮しています。公平性を考慮しつ

つ、在宅育児者がリフレッシュできるような事業を調査します。

問

水道の老朽管対応の現状は

答

下水道事業に伴う上下水道管の布設替えを行ってきたこともあり、法定耐用年数の40年を経過した管路は非常に少ないのが現状です。

問

水道料金に関する見解は

答

一般会計補助金を繰り入れ、近隣市と比較して低料金で運営しています。水道事業の財政計画に基づいて健全経営を進めていきます。



一般質問

・静鉄ジャストラインと市内自主運行バスの乗り継ぎ時間について
・今年度のエネ転事業実施状況について



齋藤 洋

問

静鉄ジャストライン菊川発浜岡営業所行きと自主運行バス御前崎方面行きの乗り継ぎ間隔に10分未満のものがあり、乗り継ぎが上手くできないとの声がある。このため、自主運行バスとの乗り継ぎ間隔を10分以上とする運行ダイヤに変更できないか

答

乗り継ぎ間隔が10分未満の時間帯がありますので、学生に限らず、市民の利便性を考慮し、自主運行バスを運行する基本的な観点から、バスのダイヤ構成の見直しを検討していきたいと思

います。



答

最初に、「ハード関連事業の実施状況」ですが、本年度は御前崎総合病院、総合保健福祉センター、浜岡東小学校及び御前崎小学校の4施設に太陽光パネルと蓄電池の設置工事を予定しています。実施設計が終了し、10月に工事着手、来年3月中旬の完成を予定しています。

次に、「ソフト関連事業の実施状況」ですが、ふたつの可能性調査を実施します。そのひとつは、「エネルギーのまち観光事業化可能性調査」で、既に7月に着手しています。もうひとつは、「停止船舶への燃料電池給電システム事業化可能性調査」です。これについては、10月に着手予定です。

なお、エネルギービジョンに掲げた事業については、9月開催予定の「エネルギービジョン推進協議会」において、実施計画を検討し、推進してまいります。

問

本年度、国の100%交付金事業として採択されている「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の進捗状況は